令和6年3月21日 議会のあり方調査研究特別委員会議事録
10時15分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 寺岡 公章

副委員長 末広 天佑

委員 豊川 和也、山代 英資、小出 哲義、
小田上尚典、細川 雅子

議長 北地 範久

○欠席委員 岡 和明

○傍聴者 藤川 和弘、山崎 年一

○寺岡委員長 皆さんおはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから議会のあり方調査研究特別委員会を開きます。

前回の会議11日に予定はされておったんですが、本会議が随分と長引きまして急遽中止にさせていただきました。予定しておられた皆さん方、申し訳なかったと思います。改めてあのとき話すことをまた今日、2本立てでやらせていただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また本日、岡委員からは欠席の届けが出ておりますので、お知らせをしておきます。

では、日程に入りたいんですが、まずは日程1の議会情報の送受信から、山代チーフに進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○山代委員 皆さんおはようございます。

前回3月4日の委員会で議会中継と議会だよりの活用の提案とパネルの作成についてを、それぞれ2班より内容の報告をいただきました。その件についてその後、各班にて協議を進めていただいていると思います。状況の報告をいただければと思います。

議会中継について報告をいただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

豊川委員。

○豊川委員 議会中継ですが、まずサイドボックスの資料の中継検討施設一覧を見ていただきたいんですが、この中でテレビ設置というのが玖波公民館と栄公民館が基本的に難しいかなという感じになっておりまして、ほかはほとんどテレビの設置はあるという感じですよ。おがたピアに関しては2階にロビーがありまして、いつでも放送できるように御準備をいただけてるということです。

ネット環境につきましては、先日マロンの里のネット環境がちょっと弱いとあったんですが、これはちゅピCOMのネットを使われておって、メールの送受信ぐらいしかできないということなので、動画はちょっと厳しいなという感じになっております。

テレビは、マロンの里はちゅピCOMもございますので、そういうお手伝い等何かあればできることはやらせていただくというお返事はいただいております。

中継班の放送中シートを見ていただきたいんですが、こちら私がつくったのを小田上委員と末広委員がアレンジしてくれたものなんですが、テレビの中継する際にリモコンと一緒にA4の半分ぐらいのサイズのシートを置いとけば、大竹市議会の本会議が中継されて、チャンネルを変えたいと言われる方がいればチャンネルは御自由に変えていただけますという説明もございますので、こちらをテレビとリモコンと一緒に貼っておいたらいいかなと思いました。

あと、本会議中継について議会開催通知放送のお願いという資料を見ていただきたいんですが、こちらの中継を実際にお願ひするときの文になります。こちらは議会ごとということなので、そんなに長々した文章でなくて簡単な依頼文ということで作成していただきました。

次が、中継班の本会議中継の流れなんですけれども、まず議会運営委員会がありまして、こちらが本会議の7日前程度にありますので、そこから1日程度で日程が決定された後に事務局が各課への依頼文の作成をしまして、そこから各施設の担当課に中継の依頼を文書でお願いするということになります。こちらの懸念点等が議会運営委員会での決定後の依頼になるので、施設によっては文書の依頼が遅れる可能性がある、本会議が予備日に入らない場合の中継の中止については、事務局から開催のない旨を担当課へ連絡、あと視聴者の人数等が把握できない、周知方法が難しいという懸念点がございますという流れになります。

以上です。何か補足等あれば、よろしくお願ひします。

○山代委員 末広副委員長。

○末広副委員長 補足です。一つ文章漏れてたので、まず最初に私が作成した文ですけど、毎回出す各課の依頼文と一番最初にお願ひする文で分けてますので、そちらの文章も目を通してお願ひいただければなと思います。

以上です。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 まず、この中継の依頼文は、一番最初に中継をこの施設でやってもらうというところの一番最初の依頼文です。その後どういう流れでやるかというのは先ほど豊川委員から説明いただいた流れに沿って、議会運営委員会終了後じゃないと正式なお願ひができないのでこういう流れでやっていこうと。放送のお願ひの通知は、事務局作成で事務局から行くということになるので、放送のお願ひの文章は、これをテンプレートで使ってくださいというところなんです。

この中継検討施設一覧を見ていただきたいんですが、今日この委員会の中で話し合いたいなと思ってる点が、まず1点目が以前も話しましたが、中継試行施設でマル・バツをつけております。玖波公民館、栄公民館についてはテレビの設置はあるものの、ロビーとかではなくて中に入り込んだ和室部分にあたりして、すぐに目に触れる場所ではないので試行は難しいんじゃないか。それに加えて、松ヶ原集会所も同じような形でステージ上に設置されていて常に見れる状況ではなく、また、操作していただく方もいないということで難しいのではないかと判断。

あと協議していきたい部分で、アゼリアおおたけでは、一時放送いただいていたんですが、利用者の方から変えてほしいという声があってやってないので、ここは三角にしています。アゼリアおおたけをお願いするかどうか、ちょっと協議いただけたらと思います。

あとは依頼文とか開催のお願いの文章等修正ございましたら言っていただけたらと思います。

以上です。

○山代委員 こちらの件に関して何か御質問等があればお願いしたいんですが。

[「今の資料全体」と呼ぶ者あり]

○山代委員 はい、全体で構いません。

委員長。

○寺岡委員長 さっきみせていただいた本会議中継のお願いがあるんですけど、これは議長名で出すことになるのかなということと、あと中身ざっと見てコミュニティセンターってどこだろうとか、敬具って一番右じゃないのかなとか細かいところがあったりするんで、実際に出されるときはしっかり精査をしていただきたいなと思います。議長名で出すとしたら議長が恥かくことになりますんで、よろしくをお願いします。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 御指摘ありがとうございます。3人でつくったのにもかかわらずというところで申し訳ないです。

差出人に関しては事務局と打合せをしまして、どの整理になるかというところを今していますので、そのあたりは今整理しているところです。文章指摘いただいた部分は訂正します。また再度サイドボックスに掲載させていただきます。

○山代委員 じゃあ私からちょっと2点ほど伺わせていただきたいんですが、マロンの里の件なんですが、ネット環境が弱いということだったのですが結局、結果として本会議中継はお願いをするけれども、委員会中継は見送るということでもよろしいんでしょうかというのが1点と、大竹市の本会議の放送中の絵なんですが、大変心和む絵なんですけれども、1名寝てるのがすごく気になるので、これは何とかしてほしいなというのがあります。それについてお願いします。

小田上委員。

○小田上委員 委員会中継ですが、前回、ネット環境があったとしても委員会中継は機器の追加が必要で予算の部分もあろうというところで、まず本会議を合わせていただくと言ったように記憶しています。そこの流れでいいかどうかも含めて確認いただければと思います。なので取りあえず今この3人の班の中で、委員会の中継まではまず行ってないと、本会議の中継で御協力いただいて、そのプラスアルファが今後できればなというところで止まっています。

○山代委員 豊川委員。

○豊川委員 すみません、これ私がイラスト屋さんからちょっと引っ張ってきたんですけど、寝てるのはちょっと意図があって、やっぱり見ていただくためには興味を持っていただく

というのが大前提でありまして、本当は文字で本会議で寝てる人を探してくださいとかそういうのを入れようかなって思ったんですけど、そこまでやり過ぎるとちょっとふざけすぎかなと思ひまして、このイラストということでさせていただきました。ちょっと懸念があるんだったら、これは変えてもいいかなとは思ひます。

○山代委員 個人的な意見を言ひますと、委員会、本会議で寝てる方はいらっしやらないと、皆さん真面目に仕事に取り組んでると思ひますんで、この絵はできれば変えていただきたいと思ひます。

そこら辺についてはいかがでしょうか。

細川委員。

○細川委員 せっかくね、かわいらしい絵を考へてくださったのに申し訳ないんですけど、寝てるのはもちろんなんですけども、これよく見ると寝てる方の隣が新聞読んでます、その後ろの人本読んでます、一番後ろの左の人はスマホいじってますか。ちょっとこれは絵を見た市民の方が、大竹市議会の意図について誤解をされるおそれがあると思ひますので、圧倒的にこの絵はまずいんじゃないかなと思ひます。居眠りの人だけじゃなくてっていうことです。再考をお願いいたします。

○山代委員 ほかに意見はございせんか。

細川委員。

○細川委員 さっきの中継施設一覧で小田上委員がおっしゃったように、私も頭の中ではもう委員会中継は、取りあえず今回は先延ばしにすると理解してたんですけども、テレビ中継に関してもなんですけど、どこの施設をテレビ中継をして、どこの施設はこれからまだ検討していくのか、それとも諦めるのか、そのあたりがもう少し明確にして御提案をいただければと思うんですよね。

ここの表だけだとテレビの設置があるかどうか、ちゅピCOMの契約があるかどうかしからぬんで、その結果今回テレビ中継をお願いするんかどうかというのを、そこはここで結論出すんですか。ちょっとそれがよく分からなくて、それをした上で今後の流れについてさっきこういう流れになりますけどっていうのがあったんですけどね、その流れの中でどのタイミングでどの手紙を出して、どのタイミングでどの手紙を出すかっていうあたりまで説明いただけるとすごくよく分かりますので、整理をお願いします。

○山代委員 では、今、細川委員が言われた回答とアゼリアおおたけへの対応への件も含めて、ありましたらよろしくお願ひいたします。

小田上委員。

○小田上委員 御指摘ありがとうございます。絵の件については、この班でまた再考しよう。

中継施設なんですけど、この表を最初につくったときに提示したときにも御説明したんですけど、まずテレビの設置の有無で判断をしないとイケない、それで中継をするに当たってはちゅピCOMの有無というところで、あと見づらいなんですけど右に操作という欄があって、ここ実際に操作していただける人がいるかどうか、ヒアリングを実際3人でできてきたよと言われてるところに丸がついてます。その左側、本会議の中継試行施設は、試行し

ようとする施設は丸がついて、どうにも状況的に無理だなというところにはバツ、依頼するか検討するというところは三角をつけてます。なので、丸がついているところに関しては、先ほどの委員長から修正いただいた依頼文を出して、今後本会議の中継のお願いをしていくという流れを取ろうとしています。取れたらいいなと今思ってます。

なので、アゼリアおおたけに関してどうするか、バツがついてるところも改善の協力をお願いをしていくということであれば、例えば玖波公民館、栄公民館はテレビの位置を変える作業が必要になってくる、これを誰が担うのか。松ヶ原集会所であれば操作する方がいないので、そこをどうするかというところも考えていかないといけませんが、現状すぐお願いできる場所にマル、難しいところはバツ、検討しないといけないところをサンカクにしています。

以上です。

○山代委員 では、マルがついている8か所について初期段階でお願いをしていきたいというところですね。

あとアゼリアおおたけについて、ちょっと委員内の意見をまとめて依頼する形を取らせさせていただこうと思うんですが、そこについて御意見はいかがでしょう。

細川委員。

○細川委員 お願いをしてみてもいいように思うんですよね。つけるかつかないかはあちらの判断にお任せするというか、聞かれた方から消してくれという御要望があったという御報告をいただいているんですけど、見たいって方もいらっしゃるかもしれないし、一斉に始まってここだけなんでやらないのって市民の方から聞かれたときに、いやうちには依頼がなかったっていうのはちょっとまずいかなと。一応依頼をしてみても無理のない範囲でお願いできるなら環境整っていると思うので、中継施設に判断をお任せするっていうのは難しいんでしょうか。

○山代委員 今の細川委員の意見について、何かございましたら。

末広副委員長。

○末広副委員長 細川委員のおっしゃるとおりだと思いますんで、お願いは館長にできると思います。

以上です。

○山代委員 小田上委員。

○小田上委員 そうですね、一番最初のお願いする文章に、状況に応じて中継できない場合の判断はお任せしますという一文を追加して、アゼリアおおたけにもお願いをするのが一つの手かなと思いました。なので、お願いしてみることはいいのかなと今思ってます。

以上です。

○山代委員 それでよろしいですかね、皆さん。ですから、大竹市議会本会議の放送中のイラストは再考いただくんですけども、その文言の部分にチャンネルとボリュームは御自由に変えていただだけますという一文を追加して展示していただくというのがいいのではないかなと。例外をつくることなく、一応全てにお願いをしていくというスタンスで委員会ではお願いをしていこうと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

細川委員。

○細川委員 私、栄公民館の状況はよく分かんないんですけどね、玖波公民館はテレビをロビーに出して見てた時期もあるかなと。私は見たことあるんですよ、ちょうどロビーがいろんな方が通る場所なんで、玖波公民館でそれやってもいいですよって言っていただければの話なんですけどね、手間がかかるので無理強いはできないんですけどね。そこで中継してくれば、講座のときに出たり入ったりするとか支所に来られる方とか、割と出入りがあるような気がするので、もし可能であれば諦めちゃうことないのかなという気はするんですよ。少し話し合ってみるとか、玖波公民館に関しては建て替えとかいろいろこれからあるんでね、またそっちに向けて建て替えのときには何かロビーでテレビを見ていただけるように考えとっていただくとかね、そういう点もあると思うし。どうなんですかね、交渉の余地全くなかったということでしょうか。

○山代委員 末広副委員長。

○末広副委員長 私、玖波回らせていただいているんですが、過去のことが私分らないですが、ケーブルをロビーまで引っ張れるかどうかというところがちょっと分からないというか、聞いた感じだと難しそうだなって感じだったんで。いつもあそこでお手伝いをさせていただくときはパソコンを横に置いて、パソコンからテレビで映すっていうことはさせていただいたんですが、そこまではさすがにお願いができないので、環境確認して取りあえずお願いしてみるのには可能かとは思いますが。

以上です。

○山代委員 お願いする労力と都度都度出して設置して放送していただくという部分の労力がちょっと対価としてどうなのかなという部分はあるんですが、お願い自体はしていただくというのは価値はあるのかなと。判断自体は玖波公民館に任すというところで、一応依頼をかけていただいてもよろしいでしょうか。

[発言する者あり]

○山代委員 ありがとうございます。これを一応いつからという形になろうかと思うんですが、もう3月が終わってしまいますので6月からで、まず案内文を正式に見直していただいて議長に承認をいただくというところから始めていただければと思います。

小出委員。

○小出委員 全体的なところで、当面は本会議場でのちゅピCOMの放送を先行して放送するというので、委員会の放送がしばらくはないよということですよ。

であれば、以前そういう話もあったかと思うんですが、議案の説明であるとか一般質問であるとかっていう白熱した内容は聞いていただけるとして、議決のときについては質疑なし、討論なしっていう放送が続くと、市民の皆さんに委員会での内容が見えないと誤解を生むのではないかなと思いますので、そのパネルの部分に詳しい委員会での内容はユーチューブを御覧くださいというふうな、何か説明があってもいいのかなと思うんですが、いかがでしょうかね。

○山代委員 今の小出委員の意見について、何かございますでしょうか。

末広副委員長。

○末広副委員長 小出委員のおっしゃるとおりで、なかなか委員会が映せないってことであれば、そこでまず議論というか結論を出して議場に持っていくっていう形なんで、そこを見ていただくのが議会としても本意だとは思っているので、その説明は必要かと思います。以上です。

○山代委員 では、その方向で進めたいと思います。

小田上委員。

○小田上委員 提案自体は非常に意図もよく分かるんですけど、委員会で中身をやってますよっていう誘引の仕方が、ちょっとどう誘引していくのかってのが具体的に思い浮かばないんですよ。ユーチューブでやってますって言ってQRコードをつくって上げてますよね、大竹市議会のチャンネルのトップページのQRコードをつくったところで、どの委員会でどの話をしてるかなんて多分ぱっとは分かんないんですよ。

今回の本会議についての委員会、委員長報告を上げて最終日にやりますから基本的には、それまでに委員会は流れてます。今回この定例会で話した委員会はこれですっていうQRコードつくれますが、それをどういう形で、簡単な誘引の仕方をしようと思えばそれぞれの動画のQRコードをつくって上げるとか誘引する方法あると思うんですけど、じゃあそれをどう配布していくのかは毎回手間になるかなとか、委員会を見ていただくっていうその誘引するのはいいんですけど、ただユーチューブのトップページに飛ぶようなものだと探す手間というか、僕らは分かっているから何日の委員会を見ればいいねで済みますけど、何日の委員会を見ればいいとかっていうのは多分ぱっと見たら分かんないんじゃないかなと思うんですね。

だから、そのあたりでもしいい案があれば、この場では無理かもしれないんで、またパネル班の方も声かけてもらったらと思いました。取り入れるのはいいと思うんですけど、取り入れ方が難しいかなと。

○山代委員 小出委員。

○小出委員 放送してるところで見ていただいているものが全てじゃないですよっていう説明ですよ、そのユーチューブを見る見ないっていうのはその方にお任せするしかないんですが、詳しいこの審議の内容は各委員会に付託されて審議されていますっていう説明があれば、見なくてもこれが全てじゃないんだねって判断がその方につくのかなと思うんですよ。

○山代委員 内容をユーチューブに誘引というわけではなくて、この今放送している結果についてこういう審査の過程を経てますよというのが分かるような文章ということによろしいですかね。

末広副委員長。

○末広副委員長 小田上委員のおっしゃることも十分理解できるんですけども、いきなりそこまで持っていかなくてもいいのかなと思ったりします。その方法はじっくり考えてみて、そういう声が上がってきたらやっぱり誘導したほうがいいんだなっていう流れになるかもしれないんで、取りあえず今は小出委員のおっしゃられたところを入れていけばいいのかなと思います。

以上です。

○山代委員 その他に。

小田上委員。

○小田上委員 具体的にどれでとかっていうよりも、ほかのちゃんと審査してる場がありますよという紹介ができればということですね、ありがとうございます。放送中シートを今挙げさせてもらってますけど、ちょっと説明書きを入れるとかが一番分かりやすいのかなと思ったんですけど、その方向かなと思ったんですが、よろしいですか。

○山代委員 その方向でよろしいですかね。

では次回までに案内文と放送中のシートの内容を再考いただいて、また掲載していただく形にさせていただこうと思うんですが、よろしかったですかね。

委員長。

○寺岡委員長 すごくいいと思います。流れとしてはいいんですが、パネル班にこの後プレゼンしてもらいんですけども、豆知識の中で本会議と委員会の違いなども紹介していかれるのかなというアイデアをお持ちだと思うんですね。そこと内容を合わせながら、早めに紹介していったりその紙面に上がったものを何か加工してモニターのそばに貼っとくとか、そういうこともできるかなと思いました。ここはうまいことコンビネーションをつくってやったらいかがかなと思います。

○山代委員 じゃあ一旦それでつくっていただいて、またそこで土台を上げたものについて協議をしていく形にさせていただければと思います。

では議会議中継については以上とさせていただきます。

続きまして、議会だよりの活用の提案とパネルの作成について、こちらから報告をさせていただきますと思います。広報広聴特別委員会へ前回打診をいただき、コンテンツの作成を行うというところまでは進んでたと思います。寺岡委員長を通じ打診内容に対して広報広聴特別委員長にはおおむね応じていただけてるという認識でおります。

その内容をもって議会だよりの活用提案等を行うということでしたけれども、その後の進捗を御報告いただければと思います。一応私が説明をさせていただきます。

サイドブックにパネル班市議会だよりに向けて3.21という資料を掲載しております。パネル班の目的としては、大竹市政に興味を持ち、主体的に関わる市民を増やす、自分事として大竹市政の様々なことに興味を持ち、議会の担い手となる方を増やす、要するに興味を持っていただいて議会を担っていただける方が少しでも増えていただければという目的を持っております。

その目標として、市議会だよりを通じ、議会の使命・役割・仕組みを理解いただける市民を増やすということを行っていかうと思っております。その方法として広報広聴特別委員会から市議会だよりの紙面を割いていただいて、シリーズとして周知を行うという形を取らせていただこうと思います。

掲載させていただく内容については大きく二つと考えております。まずは、議会の大枠について、こちら表紙及び紙面の一部を割いていただき掲載を行おうと思っております。ちがさき市議会だよりのサンプルというのもサイドブックに掲載しているので、こちらを

御覧いただくと、こちらはきれいに表紙に定例会の流れと一般的な注釈をつけてるんですね。これを模倣させていただいて、うまいことできればとパネル班では考えております。

これは委員会での意見として、総意として広報広聴特別委員会に打診をするような形にはなるんですが、それと加えて中に紙面として議会の役割、議会の流れ・構成、こちらは図である必要があるかもしれませんが、本会議、特別委員会、常任委員会の構成と仕組みとかですね、その役割等を周知させていただければと思います。あとは議会の運営の仕方、こちらは中身、紙面を割いていただいてシリーズもので段階を追って掲示させていただく方法を取ろうと思っております。

その一方で、もう一つ議会の豆知識というものを、見開いた紙面の両脇、よく週刊誌とかで縦にちょっとしたひと言ふた言が載ってると思うんですが、そういう方法を取らせていただいて豆知識を載せていただけたらなと思っております。こちら数量の制限は設けないんですけども、できるだけたくさん皆さんから意見を集約させていただいて内容ごとにスペースの許す限り掲載をしていくと考えております。カテゴリー別に分けてですね、これは一応案なんですけど、本会議と委員会の違いであるとか特別委員会とは何であるとか一般質問、事前通告とは、陳情、請願とはどういうことなのという細かい項目まで絞って表示ができればと考えております。

例として、本会議場に入場する際には議員のあかしであるバッジがないと入れませんか、そんな簡単なことでもいいと思うんですよ。本会議から付託されて初めて常任委員会が開催できるとか、私は知らなかったことも多いんですが、議員の方の常識が一般市民の方々の常識とは限りませんので、事細かい情報を載せてって、こういうことになってるんだねと細かいことですが周知を徹底的に行っていく方法を取らせていただくほうが、遠回りのようなんですが近道なのかなと考えております。

回数なんですけれども、2年ごとスパンを考えると年4回発行しますので、シリーズとして8回を考えております。豆知識はこの8回に縛られず、どんとためたものを広報広聴特別委員会に渡して、都度都度紙面の割けるスペースによって掲載の量を考えていただくと考えております。

また、作成自体はパネル班を含め、議会のあり方調査特別研究委員会で行うと考えております。また、開催時期ですが、ある程度ものをためるという作業と構成を考えるという作業がございますので、6月をめどにさせていただければと考えております。

ここまでで何か補足があればよろしくお願いたします。よろしいですか。

委員長。

○寺岡委員長 先ほどのモニターもそうなんですけど、すごく前に進んでると実感してます。具体的に6月スタートということであれば、6、9、12、3、6で構成変わるんですけど、この辺はどうでしょうかね。

○山代委員 そうですね、そこは構成が変わるといのは大変分かるんですけども、シリーズを組み立ててもらって、その都度都度順繰り順繰り回すような形で提示をさせていただければと思うんで、8回の構成で考えて1回どっかを抜くとか、そういうパターンか集約できるのであれば集約をするという形で構成は考えさせていただこうとは思ってます。

委員長。

○寺岡委員長 この8回というのは、この6月から例えばスタートめどとしていった場合に、例えばうちの委員会のメンバーが変わるのがあと1年半なんですよ。それが6回掲載で、プラスメンバー変わった後の9月と12月ぐらいまでをめどに8回というそういうことなんでしょうかね。そのあたりをあらかじめの予定というのを広報広聴特別委員会の皆さんにも、次の後世に申し送りをしていただかなければなりませんし、今の時点ではこう考えてるっていう、6回じゃなくて8回になってるじゃないですか。この8回の根拠をもうちょっとほしいなと思うんですけど。

○山代委員 細川委員。

○細川委員 2年8回にしたのは、議員の任期が4年だからっていう単純な考え方もあるんですけども、今委員長おっしゃったように私たちの議会のあり方調査研究特別委員会の任期としたら、あと1年半なんですけれども、何で8回にしたかという、委員が変わってからも2回程度はもう準備されてたほうが流れに乗りやすいというんですか、今までの経験の中で委員が変わって、さあまたこの委員会でスタートするに当たっては、新たな課題とかも入ってくると思うし、委員会が新たに立ち上がったときには、考える時間って最初必要ですよ。

今の考え方としたりずっとやっていきたいって思いながら私たちがこういうのつくってるんですけども、新たな委員会になったらまた新たな、まるっきり白から始めてくださいよって言うと、そこに空白が生じるかなと思うんですよ。議会のあり方調査研究特別委員会にしても広報広聴特別委員会にしても。最終的には広報広聴特別委員会とかもその判断にはなるとは思うんですけどね。一応コンテンツを準備されていれば、そこはスムーズにいきやすいかなと思ったんでその2回を次の方にも申し送りの的にしたいなと、そのほうがスムーズにいくかなと。その間にじゃあこれを続けるかどうかあたりは、次の人たちにも考えていただける時間的ゆとりがあるんじゃないかなと思って、ちょっと不安事項ではあるんですけどね。委員会が私たちが何かもう投げたみたいになるかなっていう不安はあるんですけど、逆にぜひ次のところに考えてほしいという気持ちを込めて8回にさせていただいたらどうかなと思いました。

○山代委員 寺岡委員長。

○寺岡委員長 今の説明で十分だと思います。今のことを広報広聴特別委員会にこういった意図がありますよとお伝えをしようと思います。

○山代委員 では、8回で紙面の構成を考えるとということと、議会の豆知識はできるだけ多くのものを吸い上げるという形にさせていただこうと思います。パネル班でも集約、アイデアはどんどん出すんですけども、それ以外の方もアイデアはどんどん出していただいて全然構わないので、よろしく願いいたします。

細川委員。

○細川委員 今日提案という形で皆さんにお知らせしたんですけども、この方向でいいよなってことであれば、次の作業としたら、議会の大枠についてに関してはもう少しパネル班でたたき台をつくっていく必要あると思うんですけどね。

あと豆知識に関しては今、山代リーダーから話がありましたが、幾つかのカテゴリーに分けて皆さんがふだん気づいてこんなことを書いたらどうかっていうのを募集をして、100個ぐらいはつくっておけばいろんな場面で使えるかなってということなんで、また募集をするタイミングもあろうかということでもいいでしょうかね。

○山代委員 完璧なフォローありがとうございます。その方向性で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。何か意見があれば。

小田上委員。

○小田上委員 基本的にはもう賛成で、この議会の大枠のスケジュール感がまだなかったので、そこが8回でどのようにやっていくかっていうところを御提示いただけたら考えやすいかなと思いました。

細かいことになるんですけど、例で挙げていただいているやつが2つありますよね、本会議場に入るのと本会議で付託されてってありますけど、本会議場ってどこかみたいな、そもそもなやつがいるかなと思いました。これを見て本会議場に入場する際、いや本会議場ってどこやと、今中継されてるここは何なんやと、委員会室っていうのが、なのでこの一言があって反対側のページにはこの全部の用語の解説というか、そういうのがあったりするといいかなと。本会議で付託って多分意味分かんないです。本会議で付託って僕らはやってることなんで分かりますけど、一体何をしたのかは分かんないなっていうのがあるんで、そういうところをもっとかみ砕ければいいのかな、そういうところはいっぱい出せたらいいなと思いますんで、それでやっていけば100ぐらいはいくのかなと思います。

あと、これ見てて思ったのは、ある程度ちゃんと流れができれば広報広聴特別委員会でも今回これ使おうよみたいな、パズルをはめていくような使いやすい材料にもなるのかなと思ったので、しっかりつくらないといけないなと思いました。

以上です。

○山代委員 ではパネル班は、議会の大枠についての大まかなたたき台と議会の豆知識に対する項目ごとのカテゴライズですね、あと内容は皆さんにも募って載せていこうと思うので、そこの大枠の作成を次回までにさせていただければと思います。これでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では委員長にお返しいたします。

以上、ありがとうございました。

○寺岡委員長 山代チーフありがとうございます。着々と進行しているなと思います。今、テーマは2つ抱えながら取り組んでいただいているんですけど、どうでしょうかねあと何回ぐらいこのやり方必要ですか。

○山代委員 最低2回は必要だと思います。

○寺岡委員長 最低2回。分かりました。また委員会全体として取り組む別のテーマなどがこれから起こってきますので、ちょっと先の終わりがあるということは皆さん再確認していただいて取り組んでいただきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

では以上で、日程1は終了したいと思います。

日程2に入りますが、前回の会議までの計7回の記録をちょっとひもといて、資料を掲

載しています。今日の会議の中で議員の心構え（案）、日付も入れてます。これがこれまでの7回の会議で上がってきたもので、特に意見が交換されたようなもの、それから思いがこもっているようなもの、分かりやすいもの、伝わりやすいもの、こういったものをちょっと抽出させてもらいました。ほかにもなかなかこれも心構えとしていいところついでるなというものもあつたりしたんですが、一応今のところ9個で挙げさせてもらってます。

また今から皆さんからこれ要らんでしょうとか、ここの部分足したほうがいいんじゃないかっていう意見を上げてもらいたいと思ってます。それが9個が10個になってもいいし8個になってもいいんですが、議長に報告、また議会運営委員会で紹介させていただくに当たって、できるだけ研ぎ澄まされたものを提出したいと思います。

どうですかね、皆さん御覧いただいて今日は御出席いただいていますか。もうちょっとじっくりと見ますか。いいものをつくりたいと思います。添削をしていただきたいと思うんですけどもね。可能であれば、今日完成したものを3月最終日、定例会の最終日で取り上げていただけないか、議会運営委員会の委員長にはお願いをしようかなと。ごめんなさい、25日の予定されている議会運営委員会で紹介させていただきますとお願いをしようと思うんですけども、3月過ぎたらですね次がまた6月ぐらいになってしまいますんで、早め早めにとは思うてんですが、今日まとまればそうさせてもらいたいし、そうでなければ先延ばしにさせてもらおうと。この9を8か10にするか、それとも文言を変えるか、ちょっと時間ほしいですかね。

どうぞ、細川委員。

○細川委員 これは委員会で提案して、これが私たちが委員会の中で考えた議員議会のあり方ですっていう感じで本会議のところに提案して、そこで例えば議会としての何か意思を確認していくようなことになるのか、そこら辺の取扱いがちょっと分からないです。

○寺岡委員長 今の時点、本会議でとまでは考えていません。議会運営委員会で紹介して、私たちはこれを心構えとして申し合わせておきましょう、共有しておきましょうという感じになるかなと思います。本会議で紹介するとすれば1年半、大体1年後ぐらいに活動報告、中間報告をするとすればその中に組み込むようになるかなと思います。分かりますか。細川委員。

○細川委員 ちょっと私、勝手につくったイメージなんですけどね、よく市役所に入ってくると市民憲章みたいなのあるじゃないですか。ああいう感じで5階のエレベーター降りたら議員10か条とかああいう感じで、ぱっと大竹市議会はこういう心構えでやってるんだって皆さんにお示しできるようなものをつくっていくのかと、ちょっと勘違いしてたところがあるんで、そこどうするかと、話してこんなこと話してますよで終わるのはもったいないということです。

○寺岡委員長 おっしゃるとおりですね。明文化したものを議会資料の中にはしっかりと組み込んでいきたいと思ってます。それを5階入ってロビーに掲示とかいうのもできればうれしいですね。まだその段取りとしても、やっぱり議会運営委員会などでまず周知をするところから始まるかなと思います。議会運営委員会で公式に紹介させてもらえれば、そ

ういった目につくような表現の仕方でもできるかなと思います。

今はまだ、この時点では、この委員会の中だけのおしゃべりに過ぎないと思いますので、公式なものにするのであればやっぱり議会運営委員会にしっかりしたものを出していきたいなと思います。

これが公になっていけば、ほかの人の目にももちろん触れていくわけなんですけど、自分たちも見返すようになるんですが、そのためにはねしっかりしたものをつくらないといけないんですよ。途中で簡単に書き換えるようなものではいけないと思いますので、そういう意味でいろいろ御意見を頂戴したいんですよ。一言一句をちょっともう1回じっくり見てもらいましょうか。

小田上委員どうぞ。

○**小田上委員** そうですね、細かいところはそれぞれ委員の方あるかもしれないんですけど、先ほど委員長が言われた議会運営委員会で紹介してこれが心構えてなったときに、議会のあり方調査研究特別委員会がこういうふうに取り組んでいきますよなら、議会運営委員会の紹介でうんそうかと、分かりましたということでいいのかなと思うんですが、これ議会議員の心構えで15人全員に関する事なので、議会運営委員会の場でこれにしたいと思いますっていうのでいけるのかどうかっていうのがちょっと。

なので、議会運営委員会の場だけでこれで15人がこれだと納得いただいてなるのかなと。15人全員に納得していただいている必要があるのかどうかっていうのもあるんですが。

○**寺岡委員長** お気づきのことをお話しただったんだと思うんですが、まず、これは普遍的なものになっていきますので、選挙ごとに中の人が変わっていくわけじゃないですか。その人に一々これで行きますねと承認を得るわけにはいけませんよね、うちは組織の心構えとして、これでいってますっていう。

ですので、今の議会の仕組みとしては議会運営の重みが議会運営委員会にはあるわけなんです、責任があるわけなんです。そこで両常任委員長及び各会派から出席いただいておりますので、そこで決めていただいたことは、もう議会運営に関するものだとの時点は思っています。

ただ、今この委員会の中で、いやいや全員に聞こうやっていうことであれば、そういう運びにちょっと変更することもやぶさかではありません。

細川委員どうぞ。

○**細川委員** 私は特別委員会のその使命というか、前半でやったテレビ中継とかパネル班の豆知識とかいうのは具体的にこういうことをやりましょうということなんでね。うちだけでそこそこ話を進めていってやらせてくださいでいいと思うんですけども、もう心構えに関してくるとちょっとやっぱり今15人ですけどね、議員16人は大竹市議会こうしていくよという気持ちの一つになるようなものでないと、そういう提案ができないといけないんじゃないかなと思うんですよ。私たち勝手にこう思ってます、ほかの委員以外の皆さんも御承知おきくださいねじゃあちょっとと思うんで、もう少しみんなが例えば議会運営委員会に出すにしても、そのときにはもう皆さんの思いが、15人の思いが一つになってこうなりましたみたいな提案ができる形まで持ってからの提案のほうが思っています。

○寺岡委員長 なるほど、分かりました。ということであればですね、これを例えば決議とか意見書とかで皆さんに諮っていくよりも議会基本条例の中に加える、条例改正でやれば一番スマートかなと感じたところです。そういったお考えではなくてですかね。今の細川委員の考えと合致してますか。

○細川委員 基本的には基本条例からそれをもう少しかみ砕いたのがこれというかね、日々の私たちの議員としての心構えとしては基本条例があって、こういう心構えで活動しましょうということだと思っんで、条例の中に入れるっていうのはちょっと私のイメージとは違うんですね。だから最初に言ったような心得10か条みたいなね、ああいう感じで私は受け止めてたんで。

○寺岡委員長 分かりました。それじゃですね、取扱いについては例えば市の条例があって、その下に設管条例とかもくっついたりするじゃないですか。あと細則とかがついたりしますんで、それぐらいのイメージでもうちょっと進めていきましようかね。

ほかの皆さんどう思われますかね。どのあたりの重みにさせるかとかいう話に今なってるんですけども。

小出委員。

○小出委員 私も細川委員のお話のように、自分たち議員としての心構え、議会としての心構えを示すものとしてそういう明文化するというのはすごくいいことであって、そういう意味ではこの場の個々の委員を集約したものだと思います。政務活動費とかについては議員全員のアンケートを取ったりとかしてますし、少なくとも私としては会派のほかの方に、これで十分かどうかというように話を少し集約したいなと思いますので、少し時間をいただけたらなと思うんですが。

○寺岡委員長 委員会の責任と権限をどこら辺で置いとくかという話に今若干入りました。我々が大竹市議会全体に影響することを決める権限と責任があるんですが、そこを全体寄りにちょっとしましようかという、そういう話でもあるんですね今のは。ですので、できればこのメンバーではしっかりと意思疎通をしながらまとめていきたいんですけど、ほか何か意見ありますか。

そうですね、このテーマにつきましてはちょっと新たに出てきた感もありますので、ちょっと休憩をしながら自分だったらどういう扱いをしたいかっていう考えをまとめていただく、整理していただく時間にしたいと思います。

併せて、中身も読み返していただいて、意見の追加、また削除、言い換え、このあたりを休憩後に持ちたいと思います。考える中身がいろいろありますので、15分ほど休憩をしたいと思います。30分に再開をして、お一人ずつ伺いたいと思いますので、それぞれ考えておいてください。

以上です。休憩。

11時16分 休憩

11時30分 再開

○寺岡委員長 それでは、会議を再開します。

休憩の前に今日、今議題に挙がってるこの心構えについての取扱いの委員会としての方

向性をまとめましょうという話になってます。休憩中に皆さんいろいろお考えまとめてくださってると思うんですが、心構えの取扱いについて、今のところ議会運営委員会で紹介、紹介イコール議会、公の場で周知という感じで考えていましたが、先ほどの休憩前の会議の中ではもう少し外に出したりであるとか、ふだんから目につくようなものに仕上げられないかという意見が出てきました。理由としては、せっかくなつくってるのにもったいないじゃないかという意見もあったんですけども、じゃあそれを今後どう扱っていくかをこの委員会の決定としてもっと磨いていこうと思います。

お一人ずつ御意見を頂戴したいんですが、中身はちょっと取りあえず置いてですね、この心構え完成した際の取扱い方を、先に決めたいと思います。

発言をどうぞ。

末広副委員長。

○末広副委員長 私としては周知でいいんじゃないかなと思います。気持ちとしては確かに皆さんの意見も集めてってあるんですけども、それが本当に現実的なのかどうかってところ、さっきもちょっと休憩中にお話したんですけど、この人数でなら確かにできるかも知れないですけどももっと多くなった場合どうするのか。そこら辺になるともう議会の仕組みの根本の話になってくるので、この委員会でまとめたものは周知でいいんじゃないかなと私は考えます。

○寺岡委員長 委員会の結論として、公の場で周知ですね。

○末広副委員長 委員会の結論というか、委員会でつくったものとして紹介する。

○寺岡委員長 委員会の考えとして紹介。ほかどうでしょう。

どうぞ、細川委員。

○細川委員 質問です。これ周知っていうのは、誰に周知するんですか。

○寺岡委員長 公の場で議事録に残るということです。議会運営委員会ですから、その会議を通して全ての議員にこんな発言が出ましたということ、要はうちの委員会の外に出るということですね。

○細川委員 議会の外に出るんじゃないで、うちの委員会として議会に報告みたいな感じですよねそしたら。議会に報告するっていうことですか。それは広く市民に周知するのは全く別の話ですね。

○寺岡委員長 そうですね。ただ、必要であればそれこそ今、特別委員会の枠が市議会だよりとかにありますんで、そのいただいている枠の中で紹介することはもちろんできますけどね。実際に活動してますから。

皆さんいかがですか。

小田上委員。

○小田上委員 この今9つ出てるものをどう取り扱うかで、議会のあり方調査研究特別委員会に付議された事項の中で、提案理由には課題や意識の共有と実効的改善・改革を進めるってあるんで、委員会としてこう考えた、決めたっていうので、付議事項から外れてないのでいいんじゃないのかなと思ってます。ここで決めて議会運営委員会で紹介する場合、それがどのような形で紹介されるかが紹介っていうのが、市民の方に触れる紹介の仕方も

ですし、議員の中にどう紹介していくのかがあまり明確でないので、どういう取扱いがされていくんだろう今後ってところが分からないからこそ、この諮り方というか、全員に聞いたほうがいい、会派に聞いたほうがいいんじゃないかとなってるのかなと思います。

○寺岡委員長 紹介の仕方、ちょっと具体的な話になってしまうんですが、議会運営委員会で委員長から発言のお許しが出たら、これまで議会のあり方調査研究特別委員会でこういった話をしてきて私たちの中でこういった心構えを議会としても議員として持ちましょうという文言を整理しました。これは私たちの委員会のみならず、全ての議員の皆さんと共有して、ともにこの心構えを意識して果たしていけるようにお互いで努めてまいりましょう、どうぞよろしくお願ひしますと、そういった紹介の仕方かなと今のところは思っていました。

小田上委員。

○小田上委員 末広副委員長が言われたところとちょっと重なるんですけど、この16の議席で今15人、だからこそ全員でできるんじゃないかっていう思いもあるんですね。ただ、組織の方向性とか議員のあり方ってあんまり時代によって特に法律が変わらない限り変わるものじゃないんだろうというところで、決める作業を毎回どんな人数の組織でも全員で決めるかって言ったらそうじゃないと思います。この委員会で、それをやっついていいかどうか、そこが引っかかってたんですよね。そこまでやっついていいかどうか。こういう心構えだぞって言っちゃっついていいのかどうかってところが引っかかってたんですけど、さっき設置の決議案を見てれば外れてないんでやってもいいのかなという整理が自分の中でついたので、やっぱり紹介して委員長の言われた周知の仕方でもありなのかなと思ってます。

○寺岡委員長 重みを持たせるんでしたら、決議案として委員会提案という流れにはなると思います。議案に入れば、要は議場での修正案、もっと言えば議会運営委員会での修正っていうのはする機会はあると思います。それが一人一人から意見を聞くということにはなっているんですが、その事前に、それよりもっと前にお一人お一人からこんな出そうと思うんだけどっていうのは、調整の範囲の中ではあるかなと思います。実際にどうするかは決めていけばいいというところです。

細川委員。

○細川委員 今この委員会の決議を読んでるんですけど、提案理由の中に、議会基本条例に基づき、議会のあり方について本質的な議論を通じて調査研究を行い、ここまでいいですよ、やっていたと思います。課題や意識の共有と実効的改善・改革を進めるため特別委員会を設置するという、その課題意識の共有は私は議会全体での共有という意識だったんですけども、ここは委員会の中で共有するという解釈なのか、それによって大分ここから先が違おうと思うんですよね。私はこれは議会の中であなた方が研究してきていろいろ課題があったりとかこういうことですよって出てきたのは、もう議会全体として共有しなさいと受け止めてましたが、そこはどうなんでしょうか。

議会全体で共有になってくると、私はやっぱり意見書の決議とかどっかでやっぱりみんな確認できる場、報告で終わりじゃない、何かみんなで議会として確認できる場があるようにも思うんですけどね。ここ解釈、ちょっと人によって違おうと思うので、一致させて

ほしいです。

○寺岡委員長 いいと思いますよ。この場で意見書として出そうやとなれば、もちろんその運びで進めていけばいいと思います。そうしたときに修正ももちろんこの委員以外から出てくると思いますから、それはもういろんな議題と同じ、議案と同じように修正すべきところは修正してみんなで決めていきましょうっていうのであればもちろんそれでも構わないと思います。

ほかの皆さんはどうですか。

山代委員。

○山代委員 私は先ほど寺岡委員長がおっしゃられた内容でほぼいいんじゃないかと考えてます。ただ、決まったものに対してはどこか、議員の目につくところに常に貼っといっていたでいて忘れないようにっていうぐらいのやり方でもいいのかなと考えます。

○寺岡委員長 決まったものについては表示・掲示をしておきたいと。常設とか言ったらちよつと言い過ぎですかね。

山代委員。

○山代委員 常設でいいと思います。

○寺岡委員長 ほか何かこの件で、心構えの取扱いについていかがですか。

小出委員。

○小出委員 私、先ほど寺岡委員長が言ってくくださったように議会運営委員会に諮って、このたびの議会のあり方調査研究特別委員会での議員議会のあり方の考え方のまとめですっていうことで報告をするっていうところでよいのかなと思っと思って、ただそれが基本条例の細則のようなものとして文章化するであるとか、あるいはその心構え的なものとしてどっかに貼り出しをするというふうな他の議員の行動を要請するような内容であるとすれば、もうちょっと中の文章については会派に持ち帰ってその話をする必要があるかなと思いますけれども、ただ、自分たちの中の議会基本条例があるわけで、それが行動の規範になってるわけですから、それを全てを網羅しているものではないと思うんですよね。であるので、特別に何かこれを文章化したりとか、それを貼り出して他の議員の行動を促すようなことまでは必要ないと思うんですけど、文章化するんであればもうちょっと細かく内容を精査したほうがいいのかなと思います。

○寺岡委員長 内容についてはこの後ももちろんやっていくんですけども、議会運営委員会に諮ると報告は全然取扱いが変わってくるんですが、お気持ちとしてはどちら、諮るといのはこれを認めますみたいな感じで議案、申合せ事項にしても何にしてもこれでいきましょうと議会運営委員会でもやってもらうのが諮るで、報告は委員長が一方的にしゃべるだけですね。報告でいうことですね。

小出委員の意見は、とにかく明文化をやっておくということと、細則などで例えばですけどね。どうぞ。

○小出委員 明文化するんであれば、もう少し会派に持ち帰っての話が必要であるけれども、ただ、そうなるとすごくもっともって時間がかかっていくものかなと思うので、取りあえず明文化せずに報告でいいんじゃないかなと思います。

○寺岡委員長 例えば細則として明文化して、議会全体に影響をとというやり方もあるが、今の時点では報告にとどめておく程度でいいんじゃないかというお考えですね。ありがとうございます。

あとは豊川委員、何かお考えないですか。どうぞ。

○豊川委員 そうですねちょっと難しいんですけど、ちょっときれいごとばかりでちょっとうんざりしてるんですけど、これは心構えて当たり前のことではあるので、取扱いに関しては貼り出したりとか見えるところに貼ってたりとかするものでもなくて、議会運営委員会で報告程度でいいんじゃないかなと私は思ってます。

○寺岡委員長 議会運営委員会で報告程度でいいんじゃないか。今、発言の中にきれいごとばかりでうんざりとありましたが、これはこれまでの会議の皆さんの発言に基づいてつくってるものですからね。今から修正をしていくので、そのときにまた御意見をいただければと思います。

ほか何か、追加でありますか。

どうぞ、小田上委員。

○小田上委員 細川委員の言われたこの課題意識共有っていうところの幅なんですけど、このメンバー構成がまず僕は常任委員長っていう枠で呼ばれてると思うんですね。細川委員もそうだと思います。各会派からと一人会派、バランスを持ってやりましょうというところから来てるので、例えばこれでこの委員会の中で話をして、全く情報が共有できてないとなれば、会派の代表として来てる委員の責任ですし、分かんないよって文句言うんだら傍聴しとけよって僕はなるんですよ。ここでちゃんと話してて、ユーチューブもあるので、ただ、これがいきなり過ぎてっていうのはあるんじゃないかなと思います。いきなり過ぎてっていうところでいくんだら、今日初めての議題なのでちょっと時間は要るかもしれないですけど、何かここで話してることについて全然大丈夫なんじゃないかなと思ったりはします、課題意識の共有っていうところが、もうここで話してるのが全体の共有の作業になってるんじゃないかなと思ってるんですけど、それは僕が甘いんですかね。

○寺岡委員長 小出委員どうぞ。

○小出委員 おっしゃるとおりだと思います。たしかに会派の代表として参加しておりますけれども、ゴールが見えなかったわけですよね。この話をきて、これは何を今自分たちが意見してるのか、何のために意見してるのかのゴールが見えなかったんで、今日初めてじゃあどうする、明文化するかしないか、報告するか諮るかっていうところを今していますので、であれば会派の意見の取りまとめは必要じゃないかと。

文章化するんであれば、基本条例にのっとって基本条例の一つ一つをやっぱり精査して、それについての心構えを洗い出しをしていかないといけないのかなと思いますけれども、この出てきた意見はあくまでも断片的と言うと失礼ですけども、心構えの中の全部を網羅したものではないんじゃないかなと思うんですよ。であれば、報告程度にとどめて、もしこれを明文化するんであればもう少し明文化するという目的の基に意見を出していったほうがいいんじゃないかなと思いました。

○寺岡委員長 これまでの7回の会議で、これのまとめた後どうするかというお話は端々ではさせてもらっていると。まとめて議長の確認をもらいながら議会運営委員会で伝えていきたいと。

じゃあ具体的にどうするのという話は、今日出てきたかもしれませんが、細かなところは方向性としては御理解いただいているものとして進行してきましたので、そこは分かっておいていただきたいなと思います。あくまでこの委員会の意思として表現していくんですけども、皆さんがどう取り扱いたいのか、これを聞きたいんですよ。こうなったときにはこうするではなくって、皆さんはどうしたいですか、この心構えの一覧を、それを聞きたい。

小田上委員。

○小田上委員 この委員会の内容として、外れたことをやってるとは思ってませんので、委員会の報告という形で議会運営委員会に報告をして、報告であっても委員会で決めましたっていうもので、明文化はいろんな方法でできるんじゃないかなと思います。

ただ、そのためには今日すぐすぐっていうのはしんどいかなと。一回持ち帰ってっていう作業があって議会運営委員会で報告、何かの形で明文化されるのであればそれでいいのかな。決めたことを僕たちが守りましょうっていうのであって、市民の方にこんなことを決めましたって別に自慢したいわけじゃないと思うんですよ。

○寺岡委員長 報告という形ででも議会運営委員会で表現すれば、明文化は今後何らかの形でできるんじゃないかということ、それから市民に知らせるというのはマストではないということですね。

ほかどうでしょうかね。

細川委員。

○細川委員 私が懸念しているのは、報告で終わるとしたらそれは私たちの委員会の中、例えばですよ、これからこれをつくって自分が議員として活動するときに、やっぱり行動指針にはなってくると思うんですよ。そのときに要は私たちは議会のあり方調査研究特別委員会の委員として話をして方向を出しましたと。私たちはそういう行動指針を持って活動してますと。いやいや、委員以外の皆さんはどうなの。みんな考えて、特別委員会でそういうのをつくったんですね。それでいいのかな、どうなんでしょう。私はできたらやっぱり報告で終わらずに、皆さんの意思の確認をしてみんなで共有していただく、議員みんな。これは報告じゃあちょっとね。ちょっと何かうまいこと言葉が見つからないんですけどね、緩いんじゃないかと思います。

○寺岡委員長 議会運営委員会で報告だけで収めちゃったらこの辺がちょっと心配だと。私たちが守るものをぜひ皆さんも心を持ち、心構えとして持つってもらいたいんだけどなという思いをお持ちということですね。なので、例えば意見書のような形で、議場にこだわります本会議場に。本会議場でこれは採決をするものか、それとも本会議でしゃべるだけでいいのかどうでしょうかね、採決ですね。ありがとうございます。

こういった意見もあります。こういった思いでこれまで会議をしてきたということですので。

どうでしょう、山代委員。

○山代委員 今の細川委員に賛成なんですけど、本会議場で採決はちょっと置いてですね、ここの委員の人間で決めたことはここの委員の人は守るけれども、委員じゃない人は知りませんよというようなんではなくて、大竹の市会議員としての心構えなんで皆さんで周知をしましょうよという部分は必要になってくるのではないかなと思います。だからそれをどういう表現するかがちょっと私、今手法として分からないんですけど。

○寺岡委員長 大竹市議会議員全体の議会議員全体の心構えとするのであれば、全体の場での採決が必要になると思います。ただ単に議会運営委員会とかで報告するだけでは、あそここの委員会の考えよのっていうのも確かに起こり得るかもしれませんね。

全体の場で意思の確認というのは、公の場で必要かなと思います。そのために、すみませんさっきの細川委員がおっしゃったのは、つくる段階からもうちょっと委員外の方々からも意見を酌み上げましょうかねというそういう御意見でしたよね、ありがとうございます。

ほかいかがですか。つくるというか決定までやね。

時間も大分たってきましたので、今日決めるのはやめましょう。予定では3月という格好で今のところを進めてきましたが、委員外からも意見を酌みたいという御意見が複数出ましたし、ちょっと一旦持ち帰っていただいて、これは何回も言うようにたたき台ですからね、決めてかかっちゃ駄目ですよ。一応10月26日からのメモ、議事録をひもときながら、言葉を拾っていったり例えば前回の会議で上がったことが実は12月の会議に同じような意味合いのものがあつたとか、そういったものを集約をさせてもらってますんで、基本的には網羅されているものだと思ってます。ただ、ちょっと伝わりにくいところもあるかもしれないんで、そこをねしっかり皆さんに叩いていただきたいと思います。

この心構えは決めてかからずに、委員外の皆さん方がどう思われるかっていう意見を拾ってきてください。取りあえずそれでいきましょうかね。3月いっぱいできんかったのが大変申し訳ないんですけど、また引き続き御協力をいただきながらしっかりいいものをつくっていければと思います。

それでは、一旦この委員会は閉じたいと思います。この次の末広チーフの会議が終わった後にまた次の会議の日程を決めようと思いますので、よろしくお願いします。

では以上で、午前中の委員会を閉会します。

どうもありがとうございました。

11時59分 閉会